

発掘成果をふりかえって 2011

<http://www.kyoto-arc.or.jp>
(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



1 平安京右京三条一坊六町跡 中京区西ノ京小倉町ほか

佛敎大学二条西キャンパス予定地で平安時代前期の邸宅跡が見つかった。藤原良相(813-867年)の西三条第「百花亭」があったとされており、「三条院釣殿高坏」と記した墨書土器のほかに入陶磁器なども出土している。



発掘調査の位置



2 植物園北遺跡 左京区下鴨南野々神町

縄文時代から中世にかけての集落遺跡である植物園北遺跡では、遺跡の南東部で2件の調査があり、古墳時代の堅穴住居跡が14棟見つかった。写真はそのうちの1棟で、一辺が7mを超える方形の大型住居である。



3 勝持寺旧境内 西京区大原野南春日町

勝持寺の南西で子院の石垣跡を発見した。15世紀後半に傾斜地を造成して築かれたもので、長さ30m・高さ2.4mの大規模なものであった。当時の高い土木技術がうかがえる。



4 相国寺旧境内・上京遺跡 上京区相国寺門前町

同志社大学烏丸キャンパス予定地で、鎌倉時代の溝や、室町時代の戦乱の焼け瓦で埋まった溝が見つかった。また、戦国時代の堀も検出した。



5 六波羅政庁跡・六波羅蜜寺旧境内 東山区轆轤町

元六原小学校内で、薬研堀と呼ばれる防御用の堀を検出した。六波羅蜜寺旧境内の北西隅に当たるとみられる。また、調査区の東で、室町時代の門と門に取り付く築地や溝なども見つかった。



6 上京遺跡 上京区元誓願寺通大宮東入寺今町

平安時代後期から鎌倉時代の土坑から白磁碗や青磁鉢などの輸入陶磁器がまとまって出土した。室町時代の土取穴から天目茶碗・茶入などが多量に出土している。



7 淀城跡 伏見区淀池上町ほか

京阪淀駅高架事業にともなう第9次調査で、江戸時代の淀城に関する石垣や堀・建物などが見つかった。写真手前が中堀で、奥に東の曲輪から本丸に通じる土橋の石垣が見える。



8 法性寺跡 東山区本町二十丁目ほか

本町下高松通(十条通)で、幕末から明治時代にかけて製作された伏見人形や泥メシの土型が多量に出土した。小型の窯跡(写真左下)も見つかり、当時の伏見人形製作を知る貴重な資料となった。